

建具の気密性試験



一般財団法人

日本建築総合試験所

建具の気密性試験では、サッシやドアセットの隙間からの空気の漏れ量(通気量)を測定します。

気密性とは

建具の気密性はサッシやドアからの空気の流通を遮断する性能をいい、この試験では試験体を通過する通気量を測定します。

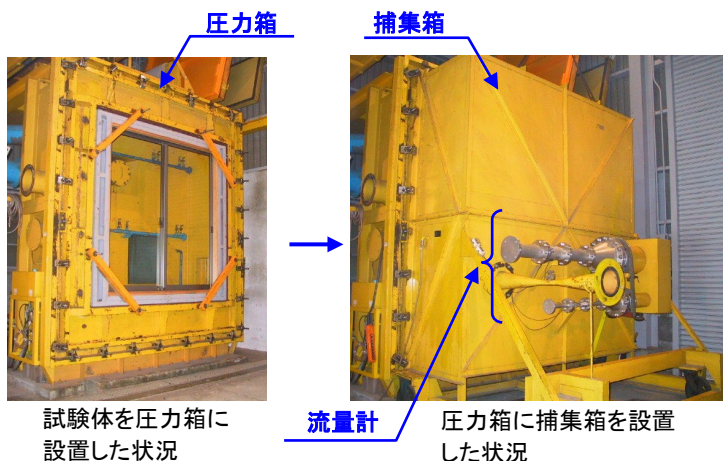
気密性試験

試験体を圧力箱と捕集箱の間に設置して、送風機を用いて圧力箱に圧力を加え、試験体両面に圧力差(Pa)を与えたときの試験体を通過した空気の量(Q)を流量計で測定します。試験手順は、下図に示すように予備加圧(500Pa)を3回加えた後、10, 30, 50, 100, 50, 30, 10Paの順に圧力差を変化させ、それぞれの圧力差における空気の漏れ量を測定します。この値と建具の内法面積(A)から単位面積当り、単位時間当りの通気量(q)を求めます。

$$q = Q / A$$

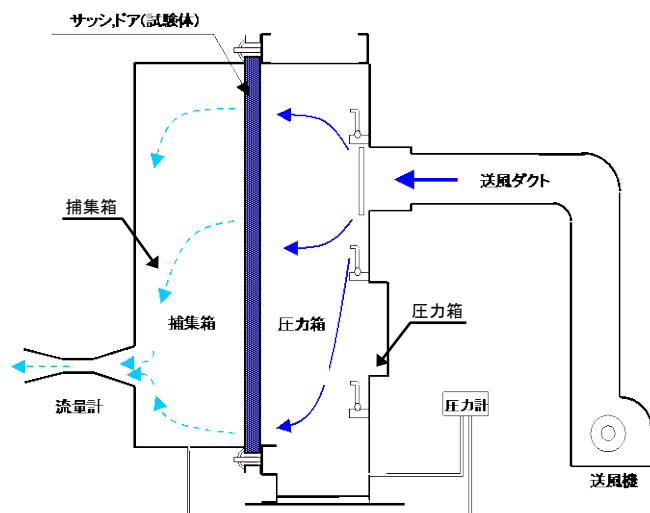
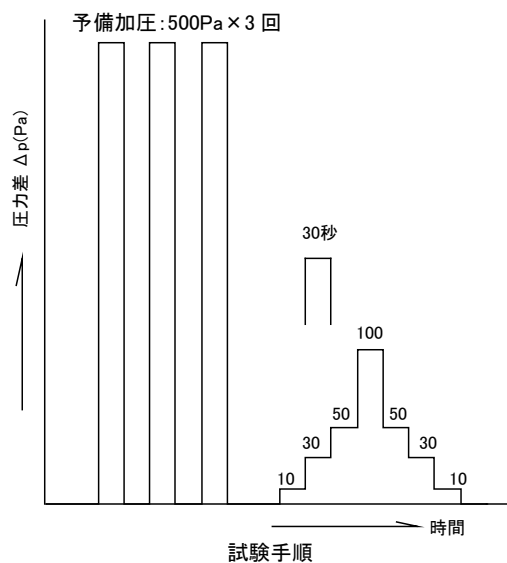
Q: 通気量(試験体を通過した空気の量, m³/h)

A: 建具の内法面積(m²)



試験体を圧力箱に設置した状況

圧力箱に捕集箱を設置した状況



- 【関連規格】 JIS A 4706 「サッシ」
- JIS A 4702 「ドアセット」
- JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」

【試験体】 サッシ、ドアセット

【試験体寸法】 W2.0m×H2.0m ~ W4.1m×H3.1m
(鋼製枠の外寸法)